

事 務 連 絡
平成23年10月24日

(社)長崎県建設業協会 御中

長崎県土木部住宅課長



平成24年度 大工育成塾 塾生募集のご案内について(依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より大工育成塾の広報につきましては、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

大工育成塾は、伝統構法を活かした木造住宅づくりの技術の継承者である大工技能者の育成を目的とし、大工を志す若者を受け入れ、教室での講義と受入工務店での現場修行を3年間実施し、大工を育成する国家プロジェクトです。

今回、平成24年4月入塾生の募集行っておりますので、ポスター、受入工務店用のリーフレットなどを送らせていただきますので、会員の皆様への案内していただきますよう、格別のご配慮をお願いいたします。

大工育成塾 福岡塾

電話 092-477-5561 担当 堀田・松原・久良木

大工育成塾ホームページ

<http://www.daiku.or.jp/>

又は、

大工育成塾

検索

クリック

長崎県土木部住宅課 まちづくり班 担当：石 橋

E-mail ishibashi-takako@pref.nagasaki.lg.jp

TEL 095-894-3104

FAX 095-894-3464

国土交通省補助プロジェクト

大工育成塾

塾生向け

「先生は、棟梁です。」



国土交通省が応援します。

住宅地から美しいたたずまいが失われ、シックハウス症候群などの新たな問題が発生し、プライバシーを過度に重視する住まいのありようが様々な社会問題を誘発する中、木や土等の自然素材で作られる伝統的な木造建築への関心が高まっています。伝統木造建築の持つ端正で均整のとれた美しさ、開放性、可変性、柔らかさ、暖かみといった特質が見直されつつあります。しかし木造伝統構法の担い手である大工技能者を見ると、新規参入者の減少により高度な技術・技能の継承が困難になりつつあります。

また、我が国の住宅は諸外国に較べて寿命が短く、このことが資源やエネルギーの無駄遣い、ひいては地球環境にも悪影響を与えています。このため、これからは質の高い住宅を建て、適切に維持管理しながら長期間にわたって快適な住まいとして使っていくことが大切であり、その実現のためにも確かな技術・技能を持った大工技能者が必要となっています。

一般社団法人 大工育成塾が実施する大工育成塾は、このような時代の要請に応えるものです。各分野の第一人者が大工育成塾のために執筆した20冊を超えるテキストを使った講義、高い技術・技能を持った指導棟梁による実技指導など、大工を目指す若者のための効果的な育成プログラムも高く評価できます。次代を担う若き大工技能者「大工志」の育成を国土交通省も応援します。

今、なぜ大工育成塾なのか。

よい住まいとは、家族の幸せの容れ物です。

住まいは、ひとが生まれて、育って、暮らすもの。

そこは人格形成の場所でもあります。

家直しは、人直し。家づくりを通して人づくり、国づくりをすることでもあるのです。

日本の伝統家屋には、それがああります。

住宅が不足していた戦後50年は、早く・安くつくることが優先され、伝統的な木造建築は、なかなか評価されにくい環境にありました。

しかし、時代は今、大きく変わりつつあります。

今こそ、日本の伝統構法である、木造建築を蘇らせる時なのです。

我が国の職人文化・もの作り文化が生んだ伝統木造建築。

その長所を現代の住まいに活かすことにより、日本の伝統文化の継承を図ります。

日本の伝統文化の再生を担うのが、ここで学ぶ大工です。

大工は住まいづくりの志士です。

私が目指しているのは、家づくりを通しての人づくりです。

この塾で、棟梁から技と精神を学んでください。



大工育成塾塾長
松田妙子

工学博士

(財)住宅産業研修財団理事長

(財)生涯学習開発財団理事長

昭和39年 日本ホームズ(株)を設立。

昭和52年 (財)住宅産業研修財団を設立。

昭和61年 (財)生涯学習開発財団理事長に就任。

昭和62年 藍綬褒章受章。

平成15年 大工育成塾を開塾。

■ 伝統木造建築で、家を一棟建てられる棟梁に ■



塾生は3年間の教室講義と現場修業で学ぶほかに、各地域や学年を超えてともに技術を切磋琢磨し合える学外実習などのプログラムが企画されています。

【プログラム例】

- 生涯学習フェスティバルでの大工実技の実演と実技進捗試験「腕比べ」
- 3年生全員による修業の集大成「修了制作」

大工育成塾で学ぶこと

— 楨組 第4期生修了生に聞く —

女性ならではの温かい心を持った大工に

中島 亜希

東京塾

高校の時に学校の掲示板で大工育成塾のポスターを見て、導かれるようにこの道に入ってきました。女性であることに悔しい思いもしまし



たが、いろいろな技術と方法の中で自分に合ったものを選べたという棟梁の指導方針と柔軟性に助けられました。将来は、私の長所を生かし、のんびりした温かい心を持った大工になれたらいいな、と思います。

教室講義で学んだことを現場で活かしたい

平林 拓真

名古屋塾

自分の手で家という大きな形になるものを建てることのできるの、すごく魅力があります。教室講義と現場修業の繰り返しの中で、何とか



学んだことを現場で活かせるよう、毎日考えながら作業をしていました。教室講義では同学年の塾生と意見交換ができてよい刺激になります。将来は、信頼されて家の建築を頼まれるようなしっかりした大工になりたいです。

大工は技術面だけでなく様々な人との繋がりが重要と実感

今村 知宏

大阪塾

将来、ずっと残るものを自分の手で建てるのが大工の最大の魅力であり、小さい頃から大工になることが夢でした。入塾して大工の仕事その



ものに理解が深まりました。水道や電気の事業者の方々始め、様々な人との繋がりが重要で、技術面はもちろん、思っていたよりも奥が深く難しい仕事です。将来は丁寧かつ早く仕事ができるような大工に。さらに、施主の方に喜んでもらえる大工を目指していきます。

大工の奥深さを実感しつつ、棟梁のような大工が目標です

立石 裕也

福岡塾

大工というのは、経験しただけの技術が身に付き、仕事の成果が形になって残るところに魅力を感じます。もちろん、現実はとても厳しく、自分の



思うようにはいかないのですが。覚えることも多く、上達に時間がかかるもの。大工の奥深さを実感しているところですが、棟梁がわかるまで指導してくれるので助かっています。将来は、棟梁のような大工になる、これが僕の現在の目標です。

研修内容

● 研修年限

3年で教室講義と現場修業が修了します。

● 教室講義

地域の塾生が一堂に会して、塾のテキストを使いながら、大工技術・技能の修得に必要な心構え、知識、理論等を1泊2日の講義で学びます。

① 講義会場

東京、名古屋、大阪、福岡。今後、新たな会場が開設されることがあります。

② 講義日数

3年間で60日程度。金・土の集中合宿で効率的に学びます。

③ 講義の内容

区 分	第1学年	第2学年	第3学年
住宅の歴史と職人学			職人学、日本の住宅の歴史
大工知識	家づくりとは何か、住まいの設計、術語、寸法、道具、木材、伝統木造建築の施工の順序	術語、道具、木材、伝統木造建築の施工の順序、日本の気候風土と住まい	家づくりとは何か(造園学)、経営管理
大工技術	板図と木拾い、木割り・木造架構、墨付け、規矩術、継手・仕口	板図と木拾い、木割り・木造架構、墨付け、規矩術、継手・仕口	板図と木拾い、木割り・木造架構、墨付け、規矩術、継手・仕口、維持保全術
建築基礎		構造力学と構造設計、住宅生産の技術と流れ	住宅環境、住宅設備、設計製図(PC図面)住宅生産の技術と流れ、建築法規、住宅の防犯
特別講義 オリエンテーション・試験・ プレーストーミング	「縮比べ」など。その他集中研修や学外講義を行うことがあります。	「縮比べ」など。その他集中研修や学外講義を行うことがあります。	「縮比べ」「修了制作」など。その他集中研修や学外講義を行うことがあります。

※教室講義科目は変更されることがあります。

④ 講師

伝統木造建築に関する知識と豊富な経験をもった棟梁、学識経験者等が教えます。

● 現場修業

一人の棟梁が一人の塾生を3年間に、指導します。

① 受入工務店

修業経験のある優れた棟梁と現場修業に適した住宅建設現場を有し、適切な安全管理を行っている工務店の中で、原則として塾生の居住地に最も近いものが受入工務店となります。

② 現場修業の実施日

現場修業は、教室講義の日及び受入工務店の休日を除き、原則として毎日行います。

● 授業料

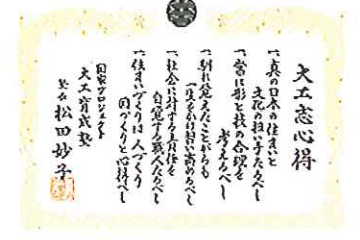
1年次50万円、2年次40万円、3年次30万円です。



教室講義用の教科書。教科書はすべて、大工育成塾の教室講義のためだけに編集制作されました。左にテキスト頁、右に書き込み頁をもうけることで、終了時には自分だけの一生の教科書となるように工夫されています。



教室講義。理論も学ぶことで技術の習得を助けます。
教室講義は集中合宿で実施され、塾生同士が親睦を深めます。



3年間の修業の終了時に配られる「大工志心得」

■「大工育成塾」塾生募集の概要

■ 募集人員

100名(毎年4月入塾)

■ 応募資格

伝統木造建築に関する大工技術・技能の継承を志す者で、以下に該当する者。性別は問いません。

- ①入塾時の年齢が原則として18歳以上25歳以下であること。
- ②伝統木造建築の木工事の実務経験がないこと。
又は実務経験が2年以下であること。
- ③健康であること。
- ④未成年者の場合は、親が入塾に同意していること。

■ 応募手続

入塾希望者は、別紙の入塾説明会申込書(コピーで可)に、氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、出身校、入塾希望理由、どこで大工育成塾を知ったか、説明会同行者の有無を明記の上、指定の締切り日までに郵送又はファックスで最寄りの塾に説明会申込みを行って下さい。

入塾出願は、説明会開催後に行っていただきます。

※説明会申込書を郵送する場合は、封筒に「大工育成塾入塾説明会申込み」と明記して下さい。

■ 選考

入塾者の選考は、書類審査、適性試験、面接等によって行います。面接等の日程及び会場はあらためてお知らせします。

■ 塾所在地

東京塾／〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21

新虎ノ門実業会館2階

一般社団法人 大工育成塾 本部

Tel : 03-3504-6604

Fax : 03-3508-4777

名古屋塾／〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26

昭和ビル9階

一般社団法人 大工育成塾 名古屋事務所

Tel : 052-238-5626

Fax : 052-238-5628

大阪塾／〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町

3-6-6 御堂筋センタービル6階

一般社団法人 大工育成塾 大阪事務所

Tel : 06-6252-6152

Fax : 06-6252-5201

福岡塾／〒812-0011 福岡市博多区博多駅前

2-12-12 第5グリーンビル4階

一般社団法人 大工育成塾 福岡事務所

Tel : 092-477-5561

Fax : 092-477-5505

※ 入塾希望者の多い地域で新たに開塾することがあります。

大工育成塾の詳細については
下記のホームページをご覧ください。
<http://www.daiku.or.jp>



■ 大工育成塾とは

大工育成塾は、次世代を担う大工技能者育成を目的として平成15年度にスタートしました。日本の職人文化・もの作り文化の再興を担う人材を育成するための国家プロジェクトとして、国土交通省が支援し、一般社団法人 大工育成塾が運営するものです。

● 大工職人 育成の方法

塾生が集合して行う「教室講義」と、受入工務店の指導棟梁による個別の「現場修業」を通じて、大工に必要な知識と、技能・技術の両面の研修を行います。

● 塾生受入 工務店

伝統木造建築を次世代に残したい、自分の技術を若者に伝えたい、そんな意欲的な棟梁・工務店が参加しています。受入工務店は一般社団法人 大工育成塾と委託契約を交わし、塾生を受入れ、実技指導を行います。

〈国家プロジェクト 大工育成塾 3期修了生〉

大工志・檜組



〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館2階
一般社団法人 大工育成塾 本部
Tel: 03-3504-6604 Fax: 03-3508-4777
<http://www.daiku.or.jp>

